

安威川と周辺の楽しい水辺環境

1. はじめに
2. 安威川概要
3. 安威川周辺の楽しい水辺
4. 地元の理解
5. まとめ

シニア自然大学校
2013年度研究発表

2013年2月8日

水生生物科 浜嶋 尚義

写真：水生生物科の皆さん



1. はじめに

水生生物科のモットー

「みんなで水辺の遊びを楽しみながら、

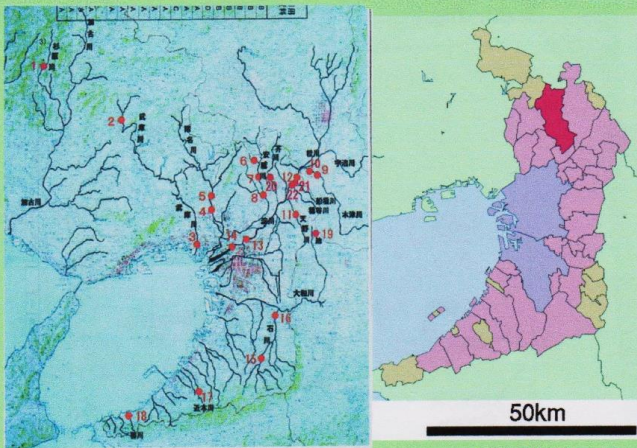
まとめてみればそれが水辺の生き物調査!」

なにが楽しかった？

- 「大物、大量、珍しい」で胸ときめき
淡水魚がきれい
- 飼ってみたら魚もカエルも可愛い
- 日本の原風景を満喫

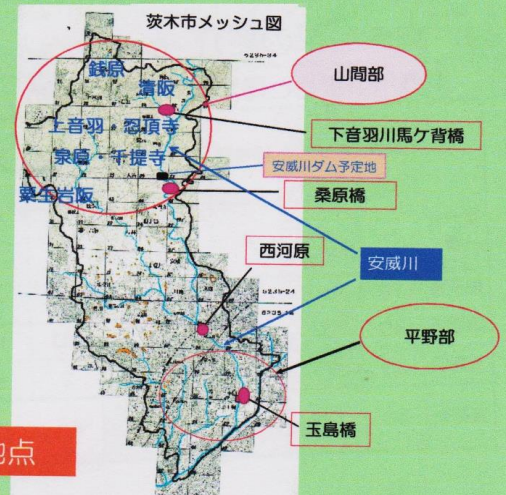
安威川とその周辺の水辺環境

- 水生生物科10年間の調査データ蓄積
定例活動、イベント、メダカ調査
- 安威川とその周辺
安威川・・・ポスターで魚類を説明
ここでは 山間部の水辺
田んぼ、池、農業用水道
カエル、トンボ、ヘビ、水草



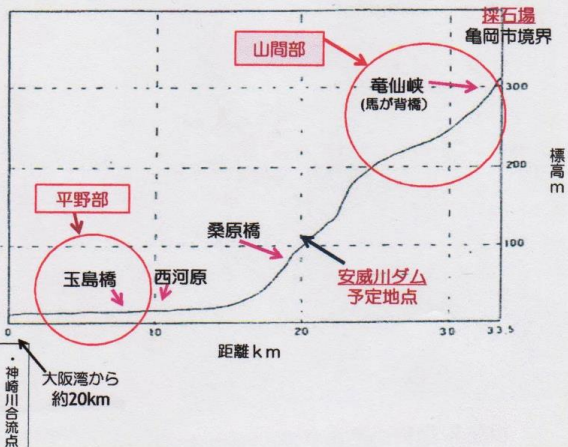
水生生物科の調査範囲と茨木市

大阪府HP引用



調査地点

安威川の勾配図



調査結果の紹介-詳しくはポスターで

安威川調査地と種類数の内訳 (単位：種数)

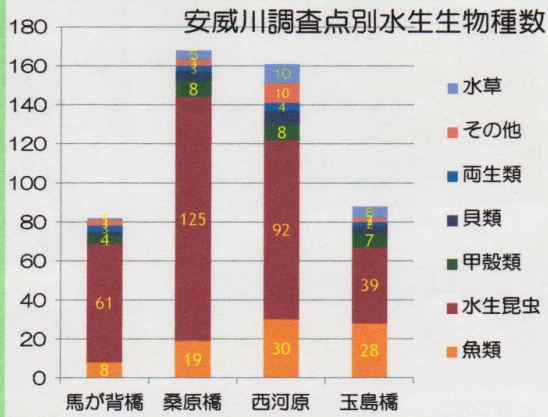
	魚類	水生昆虫	甲殻類	貝類	両生類	その他	水草	計
馬が背橋	8	61	4	2	3	3	1	82
桑原橋	19	125	8	5	3	3	5	168
西河原	30	92	8	7	4	10	10	161
玉島橋	28	39	7	4	2	2	6	88
延総数	40	175	13	12	7	12	17	276

安威川山間部の楽しい水辺

調査期間と目的

2003年～2004年 第2次メダカ一斉調査
 2005年～2007年 第1次淡水性カメ類と外来水生生物科調査
 2006年～2008年 第2次カエル生息調査
 2012年 第3次カエル生息調査

調査主体：NPOシニア自然大学
 「メダカをシンボルとする水辺環境調査会」
 担当（共同）：
 ・北摂2ブロック 茨木市内調査グループ
 ・ばらとかしの会 水生グループ
 ・水生生物科



粟生岩阪の田



稲田の原風景 ひよせ

山間部の水辺環境



2012年度調査メンバー



サワガニ



ミスカマキリ



タイコウチ

茨木市の棚田

泉原の初夏 →

大好きな風景です



←茨木の酒蔵「中尾酒造」の酒米田

酒米作りと茨木の伝統醸造のお話を聞きました。

泉原 孫田池

農業用ため池 その1



↑ この当時、台風被害を修理完了メダカ伊移動のお手伝い
いまでは、昆虫、魚、カエル、藻の宝庫

オオヤマトンボ、キンブナ？、イチョウウキゴケ

泉原 メダカ池



↑ご当主はメダカが好きで池購入
こども珍しい水生生物が一杯

ショウジョウトンボ、コシアキトンボ、タヌキモ、クロモ

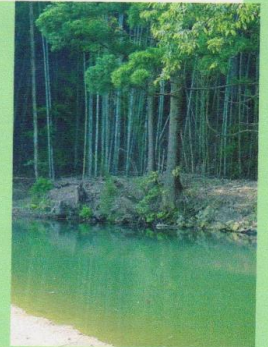
泉原 メダカ移入池

農業用ため池 その2

千提寺 モリアオガエル池

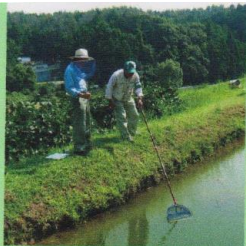


↑ご当主がメダカ大好きで親戚から移入
貴重な水生生物生息池

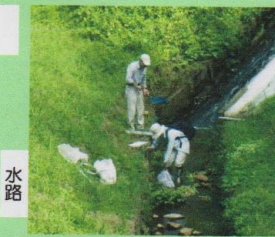


ご当主の拘りモリアオガエル、当時改修直後、今では6月は枝に卵塊が鈴なり ↑
下流の田んぼには、トノサマ、ヌマガエル、アマガエルのオタマが溢れている

調査風景

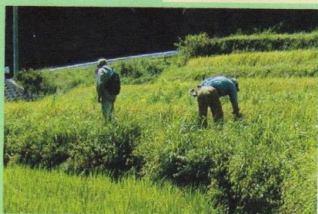


池

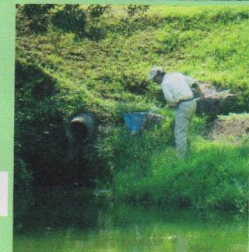


水路

地道に探しています



田・あぜ



池

水生生物の紹介

山間部で見つけたカエル (10種中8種)

種類	泉原・千提寺			銭原 清阪 粟生岩阪	上音羽 忍頂寺	大阪府レッド データ ブック
	メダカ池 IH-①	孫田池 IH-⑩	周辺			
1 ニホンアマガエル	○	○	○		○	
2 シュレーゲルアオガエル		○		○		要注目
3 モリアオガエル			○			準絶滅
4 ツチガエル				○		
5 ヌマガエル			○			
6 ウシガエル	○			○		特定外来種
7 ヤマアカガエル						準絶滅
8 トノサマガエル	○	○	○	○	○	
9 ニホンヒキガエル						要注目
10 カジカガエル						要注目

両生類 (カエル)

1. ニホンアマガエル



孫田池に浮かんでいる
↓シュレーゲルの卵



2. シュレーゲルアオガエル(準絶滅種)



3. モリアオガエル



モリアオガエル
卵塊



4. ツチガエル



腹は黒ゴマ

5. ヌマガエル



腹は白い



7. ヤマアカガエル(準絶滅種)



卵塊→



銭原の田んぼ 冬眠から起き出して産卵
1~2月

6. ウシガエル (特定外来種)



8. トノサマガエル

ため池周辺で見つけたトンボ(16種)

止水域

和名	泉原・干提寺			銭原 清阪 粟生岩阪	上音羽 忍頂寺	水質階級	大阪府 レッド データ
	メダカ 池	孫田池	周辺				
1.ウスバキトンボ		○	○			3	
2.シオカラトンボ	○	○	○			3	
3.アキアカネ			○	○		3	
4.ギンヤンマ	○	○		○	○	2	
5.オニヤンマ				○		2	
6.ハラビロトンボ	○						
7.ショウジョウトンボ	○	○					
8.オオシオカラトンボ	○	○					
9.ヤブヤンマ			○				
10.ノシメトンボ				○			
11.ネキトンボ					○		準絶滅
12.マユタテアカネ				○	○		
13.コシアキトンボ	○	○					
14.オオルリボシヤンマ				●	●		絶滅 I
15.オオヤマトンボ		○		○			
16.アオイトトンボ	○	○	○	○			
種類数 16種	7	8	5	8	3		

安威川に生息するトンボ(32種)

2006年~2012年

流水域

種名	竜仙峡	桑原橋	西河原	玉島橋	種数
トンボ科					
コフキトンボ	○	○	○	○	12
ホシヤンマ	○	○	○	○	
ミヤマヤンマ	○	○	○	○	
ウスバキトンボ	○	○	○	○	
コシアキトンボ	○	○	○	○	
オオシオカラトンボ	○	○	○	○	
オオヤマトンボ	○	○	○	○	
アオイトトンボ	○	○	○	○	
アキアカネ	○	○	○	○	
ヤブヤンマ	○	○	○	○	
オニヤンマ	○	○	○	○	
シオカラトンボ	○	○	○	○	
ハラビロトンボ	○	○	○	○	
ショウジョウトンボ	○	○	○	○	
マユタテアカネ	○	○	○	○	
ネキトンボ	○	○	○	○	

水生昆虫 (トンボ)

泉原メダカ池



シオカラトンボ



ウスバキトンボ



トンボの宝庫



オニヤンマ



オニヤンマヤゴ



ギンヤンマ

ハラビロトンボ



コシアキトンボ



マユタテアカネ



ショウジョウトンボ



ネキトンボ (準絶滅)

粟生岩阪の池

オオルリボシヤンマ
(絶滅 I 類)



池の上空をオオルリボシガ悠々と



オオルリボシヤンマヤゴ

茨木市のため池と周辺の主な水生植物

種類	泉原・干提寺			銭原 清阪 栗生岩阪	上音羽 忍頂寺	大阪府レッド データブック
	メダカ池 IH-①	孫田池 IH-⑩	周辺			
1 マツモ	○					
2 タヌキモ	○			○栗生岩阪		要注意
3 クロモ	○		○		○忍頂寺	要注意
4 ヒツシグサ	○		○	○清阪		
5 ミズオオバコ			○			準絶滅
6 ジュンサイ			○			要注意
7 フトヒルムシロ			○			
8 ヒルムシロ			○		○上音羽	
9 イチョウウキゴケ		●				I類
10 エビモ					○忍頂寺	●
11 ヒシ		○		○栗生岩阪	○忍頂寺	●
12 ホソバミズヒキ			○			●
13 ヤナギモ			○			●

水草



ジュンサイ表
要注意



ジュンサイ裏



干提寺の池

藻の種類が多い



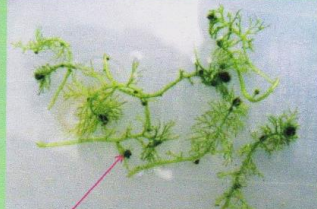
ヒルムシロ



ヒツシグサ



クロモ (在来種) 要注意
(オオカナダモと区別難しい)



捕虫囊

タヌキモ 要注意
(捕虫植物)

左オオカナダモ
右クロモ



ミズオオバコ(準絶滅)



ヤナギモ



マツモ



田んぼのイチョウウキゴケ
(絶滅I類)



ホソバミズヒキ

山地ため池・田の周辺で確認した蛇(5種)

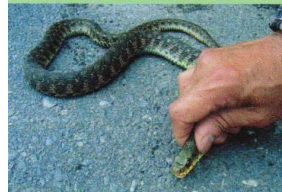
和名	泉原・干提寺			銭原・清 阪 栗生岩阪 馬場	上音羽 忍頂寺	大阪府 レッド データ
	メダカ池	孫田池	周辺			
1. シマヘビ		○	○	○	○	
2. カラスヘビ (シマヘビの黒化型)				○		
3. ヤマカガシ				○		
4. ヒバカリ			○			情報不足
5. マムシ				△		

注：マムシは遭遇せず、地元の人から聞いたことを記録

馬場の棚田



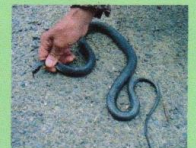
シマヘビ



ヤマカガシ



ヒバカリ



カラスヘビ
(シマヘビの黒化型)

茨木市泉原地区住民の悲痛な声

2012.9.13カエル調査時

「サワギキョウ」が珍しいとって、
田んぼの石垣の土をくりぬかれた。

「サワギキョウ」が採りたいとって、
無断で池の水を抜いてしまう。

今では「サワギキョウ」は影も形もない。

**イノシシ除け電線のソーラーパネルが
持ち去られてしまった**

頼むから、観光気分でのこの地域へこないでくれ。
頼むから、人を連れてこないでくれ。

シカやイノシシに悩まされているのに、
何故、さらに人対策か。

連れて来るNPOには厳重に抗議したい。

シニア自然大学校理念の一節

「人と自然を大切にし、
仲間と行動します。」

このことが世間で認知されるのは、相当に難しい。

5.まとめ

- ・ 茨木市山間部の自然は私達の宝物
地元の人々の生活の中で守られている
- ・ 絶対に地元の人々には迷惑を掛けない
- ・ 私はこの水生仲間とまだまだ楽しみたい
謙虚に人と自然を大切にしたい



ご静聴ありがとうございました!!